

2 事業所規模30人以上の結果

常用労働者30人以上の事業所における本県の賃金・労働時間及び雇用の動きを「毎月勤労統計調査地方調査」の結果からみると、その概要は次のとおりである。

(1) 賃金

① 現金給与総額

常用労働者1人当たりの平均月間現金給与総額（名目賃金）は、前年と比べ6.1%減の324,910円であり、実質賃金指数は4.4%減の99.8であった。

群馬県の現金給与総額は、全国平均の355,223円と比べ30,313円低かった。前年との増減率で比較すると全国平均が4.8%減であったのに対し、本県は6.1%減となった。また、実質賃金指数は全国平均が3.4%減であったのに対し、本県は4.4%減となった。

（表2-1、図2-1、2）

表2-1 現金給与総額の推移

（指数：平成17年=100）

	群馬県					全国				
	名目賃金			実質賃金		名目賃金			実質賃金	
	金額	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率	金額	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率
平成	円		%		%	円		%		%
17	360,799	100.0	-	100.0	-	380,438	100.0	1.0	100.0	1.5
18	360,838	99.9	-0.1	99.4	-0.6	384,401	101.0	1.0	100.7	0.7
19	331,179	103.6	3.7	103.0	3.6	377,731	100.1	-0.9	99.7	-1.0
20	331,453	106.6	2.9	104.4	1.4	379,497	99.6	-0.5	97.6	-2.1
21	324,910	100.1	-6.1	99.8	-4.4	355,223	94.8	-4.8	94.3	-3.4

注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

図2-1

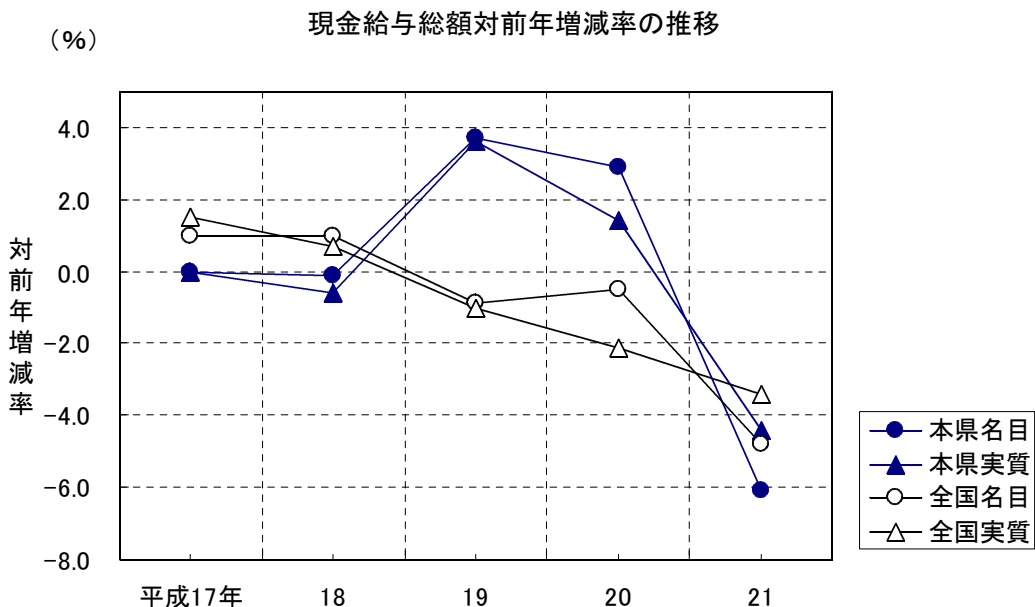
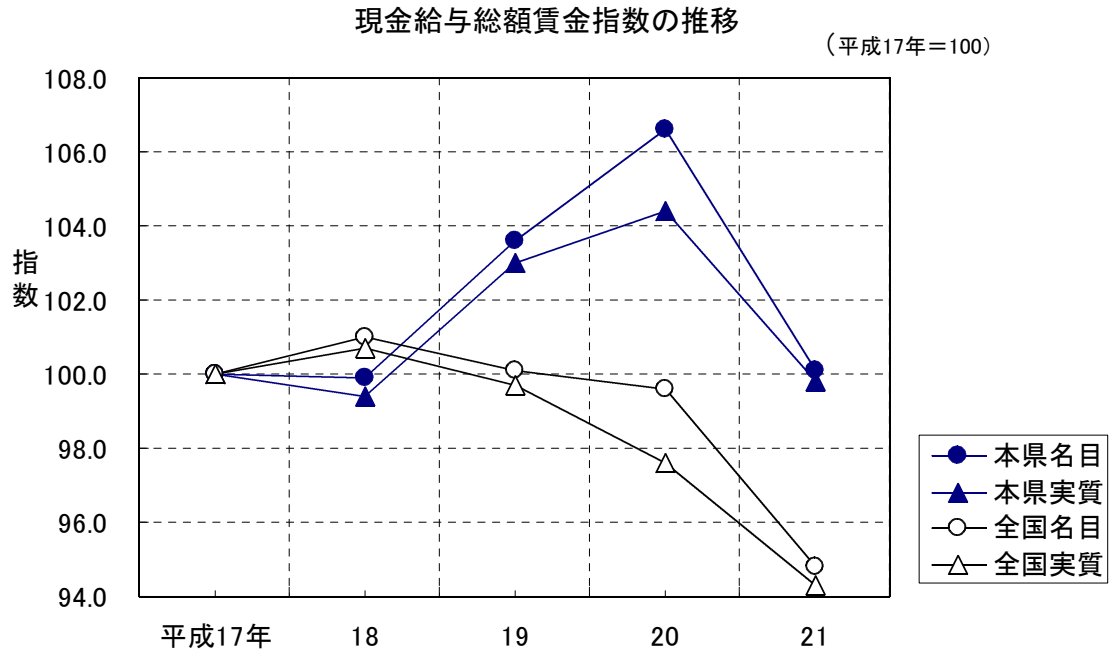


図 2 - 2



主な産業の現金給与総額は、製造業が 10.4%、卸売・小売業は 12.7%、サービス業が 9.8 %それぞれ減少した。(表 2 - 2)

表 2 - 2 主な産業の現金給与総額の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
給与総額	円							
平成17年	360,799	406,248	234,532	283,163	380,438	419,656	296,964	319,083
18	360,838	404,886	239,245	277,296	384,401	425,059	306,425	320,820
19	331,179	384,475	226,912	268,847	377,731	411,375	301,017	323,651
20	331,453	384,418	232,935	263,834	379,497	411,529	309,140	326,261
21	324,910	353,334	206,217	222,790	355,223	378,257	281,737	300,490
増減率	%							
平成17年	-	-	-	-	1.0	0.8	4.0	0.5
18	-0.1	-0.4	2.0	-2.2	1.0	1.3	3.1	0.7
19	3.7	4.5	4.9	3.8	-0.9	-0.4	-1.2	-1.9
20	2.9	1.5	3.4	-5.8	-0.5	0.1	0.4	-2.0
21	-6.1	-10.4	-12.7	-9.8	-4.8	-8.0	-5.7	-3.5

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

② 定期給与（基本給、超過労働給与、諸手当等）

常用労働者 1 人当たりの平均月間定期給与額（名目賃金）は、前年に比べ 3.9%減の 269,410円であり、実質賃金指数は 2.2%減の 102.3であった。

群馬県の定期給与額は、全国平均の 288,478円と比べ 19,068円低かった。前年との増減率で比較すると、全国平均が 2.5%減であったのに対し、本県は 3.9%減となった。また、実質賃金指数においては、全国平均が 1.0%減であったのに対し、本県は 2.2%減となった。

(表 2 - 3、図 2 - 3, 4)

表 2 - 3 定期給与の推移

(指数:平成17年=100)

	群馬県					全国				
	名目賃金			実質賃金		名目賃金			実質賃金	
	金額	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率	金額	指数	対前年増減率	指数	対前年増減率
平成	円		%		%	円		%		%
17	291,909	100.0	-	100.0	-	300,918	100.0	0.7	100.0	1.1
18	290,535	99.5	-0.5	99.0	-1.0	302,746	100.6	0.6	100.3	0.3
19	268,366	103.5	4.0	102.9	3.9	299,782	100.6	0.0	100.2	-0.1
20	269,090	106.8	3.2	104.6	1.7	300,694	99.8	-0.8	97.8	-2.4
21	269,410	102.6	-3.9	102.3	-2.2	288,478	97.3	-2.5	96.8	-1.0

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

図 2 - 3

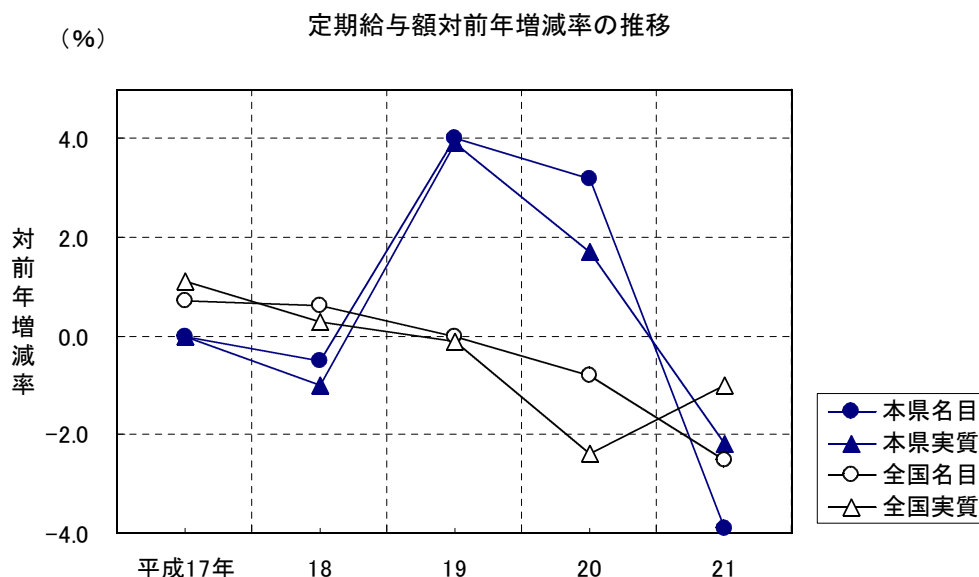
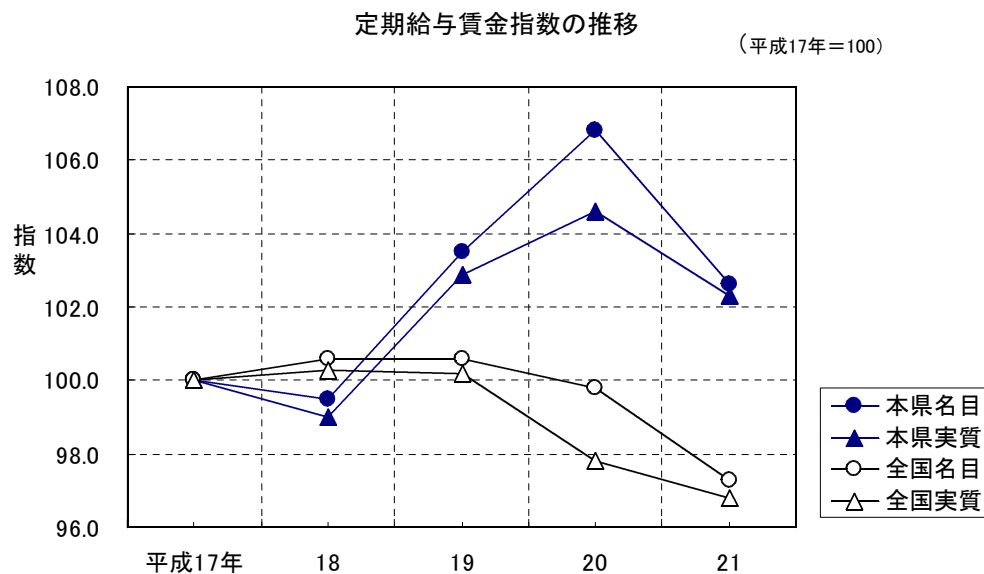


図 2 - 4



主な産業の定期給与は、製造業が 6.9%、卸売・小売業が 8.7%、サービス業が 6.9%それぞれ減少した。(表 2-4)

表 2-4 主な産業の定期給与の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
定期給与								
平成17年	291,909	321,612	199,398	230,512	300,918	326,251	237,138	259,904
18	290,535	318,628	204,107	228,454	302,746	328,519	243,787	260,809
19	268,366	306,760	186,218	223,892	299,782	319,471	241,927	264,945
20	269,090	306,698	193,264	225,628	300,694	318,919	247,079	266,822
21	269,410	292,988	179,401	197,016	288,478	303,517	233,275	252,597
増減率								
平成17年	-	-	-	-	0.7	0.1	2.7	0.3
18	-0.5	-0.9	2.4	-0.9	0.6	0.7	2.7	0.3
19	4.0	5.7	0.7	5.0	0.0	0.1	0.0	-1.2
20	3.2	1.7	4.8	-3.6	-0.8	-0.1	-0.2	-2.1
21	-3.9	-6.9	-8.7	-6.9	-2.5	-4.9	-2.3	-1.2

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

定期給与のうち所定内給与額は、前年に比べ 2.4%減の 248,063円であった。

これを全国平均と比較すると本県は、全国平均の 267,027円よりも 18,964円低かった。

前年との増減率で比較すると全国平均が 1.5%減に対し、本県は 2.4%減となった。

(表 2-5)

表 2-5 主な産業の所定内給与の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
所定内給与								
平成17年	264,241	278,156	190,512	219,749	275,205	287,026	226,197	240,129
18	262,636	275,737	194,723	216,867	276,411	287,966	231,857	240,209
19	242,006	265,222	178,160	204,250	273,625	280,262	229,729	243,636
20	243,780	267,553	184,252	206,316	275,178	281,805	234,885	245,965
21	248,063	266,547	171,136	183,648	267,027	278,319	222,247	233,763
増減率								
平成17年	-	-	-	-	0.6	0.1	2.6	0.2
18	-0.6	-0.9	2.2	-1.3	0.5	0.4	2.5	0.0
19	3.7	5.5	1.0	1.0	0.0	0.2	-0.1	-1.2
20	3.7	2.7	4.5	-3.4	-0.5	0.5	-0.1	-1.9
21	-2.4	-2.8	-8.5	-5.0	-1.5	-1.2	-2.2	-0.8

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

③ 特別給与

常用労働者 1 人当たりの平均月間特別給与額は、前年に比べ 6,863円減少して 55,500円であり、これを全国平均の 66,745円と比べると、11,245円低い金額であった。(表 2-6)

表 2-6 主な産業の特別給与の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
特別給与	円							
平成17年	68,890	84,636	35,134	52,651	79,520	93,405	59,826	59,179
18	70,303	86,258	35,138	48,842	81,655	96,540	62,638	60,011
19	62,813	77,715	40,694	44,955	77,949	91,904	59,090	58,706
20	62,363	77,720	39,671	38,206	78,803	92,610	62,061	59,439
21	55,500	60,346	26,816	25,774	66,745	74,740	48,462	47,893

④ 賞与の支給状況

夏季賞与（6～8月分集計）の常用労働者1人平均支給額は、前年同期に比べ34,954円減の362,797円、平均支給月数は0.08月減の1.15月であった。また、年末賞与（11月～22年1月分集計）は、13,443円減の386,988円、平均支給月数は0.02月減の1.24月であった。

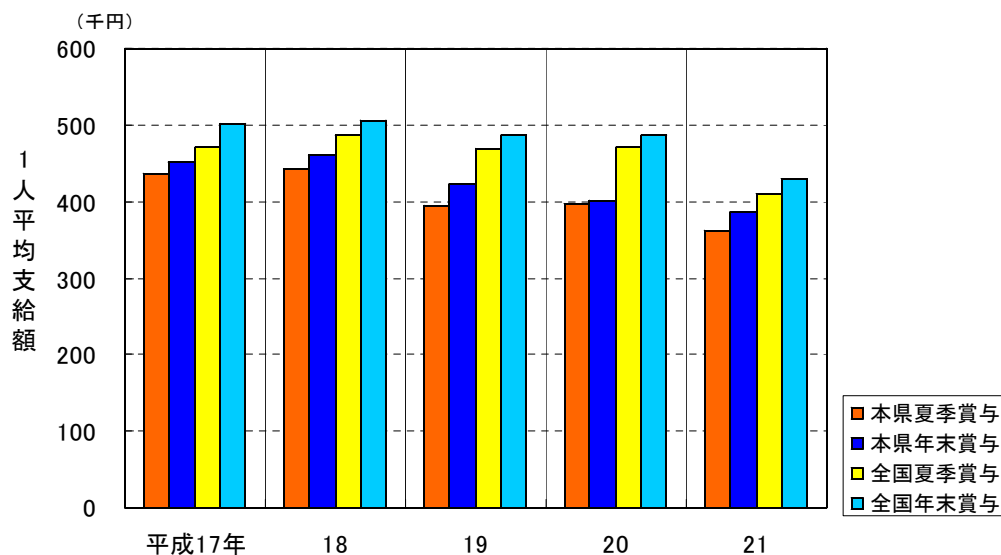
全国平均と比較すると本県は、夏季賞与（全国平均409,711円）が46,914円低く、年末賞与（同430,047円）も43,059円低かった。（表2-7、図2-5）

表 2-7 賞与の支給状況

	群馬県						全国					
	夏季賞与			年末賞与			夏季賞与			年末賞与		
	1人平均 支給額	支給事業 所割合	平均支給 月数	1人平均 支給額	支給事業 所割合	平均支給 月数	1人平均 支給額	支給事業 所割合	平均支給 月数	1人平均 支給額	支給事業 所割合	平均支給 月数
平成	円	%	月	円	%	月	円	%	月	円	%	月
17	437,060	85.6	1.32	450,901	86.1	1.35	470,286	90.5	1.29	502,218	91.3	1.43
18	443,704	91.0	1.37	460,519	92.7	1.45	486,392	89.6	1.31	505,650	92.2	1.42
19	395,696	91.9	1.25	424,133	96.6	1.39	469,275	89.7	1.28	487,302	92.2	1.36
20	397,751	91.0	1.23	400,431	90.8	1.26	470,343	89.7	1.26	487,169	90.6	1.34
21	362,797	87.2	1.15	386,988	89.2	1.24	409,711	87.2	1.16	430,047	89.2	1.24

図 2-5

賞与の支給状況(調査産業計)



(2) 労働時間・出勤日数

① 労働時間・出勤日数の動き

常用労働者1人当たり平均月間総実労働時間は、前年と比べ5.0%減の147.3時間であった。この内訳は、所定内労働時間が2.3%減の137.4時間、所定外労働時間が、32.4%減の9.9時間であった。また、平均月間出勤日数は、前年と比べ0.7日減の18.8日であった。

全国平均と比較すると、総実労働時間（全国平均147.3時間）が同値となり、所定内労働時間（同136.4時間）が1.0時間長くなっており、所定外労働時間（同10.9時間）が1.0時間全国平均より短くなっている。（表2-8、図2-6, 7, 8）

表2-8 労働時間の推移

	群馬県								全国							
	総実労働時間		所定内時間		所定外時間		出勤日数		総実労働時間		所定内時間		所定外時間		出勤日数	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	実数	前年差	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	実数	前年差
平成	時間	%	時間	%	時間	%	日	日	時間	%	時間	%	時間	%	日	日
17	157.1	-	143.1	-	14.0	-	19.8	0.0	152.4	-0.5	140.0	-0.6	12.4	0.4	19.4	-0.2
18	158.1	0.7	143.8	0.5	14.3	2.3	19.9	0.1	153.5	0.7	140.6	0.4	12.9	3.2	19.4	0.0
19	155.4	-0.3	141.8	-1.1	13.6	9.5	19.6	-0.3	154.2	-0.2	140.8	-0.5	13.4	2.3	19.4	0.0
20	154.0	-0.4	140.7	-0.8	13.3	4.1	19.5	-0.1	153.0	-1.2	140.1	-1.0	12.9	-2.8	19.3	-0.1
21	147.3	-5.0	137.4	-2.3	9.9	-32.4	18.8	-0.7	147.3	-3.1	136.4	-1.8	10.9	-16.7	18.8	-0.5

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

図2-6

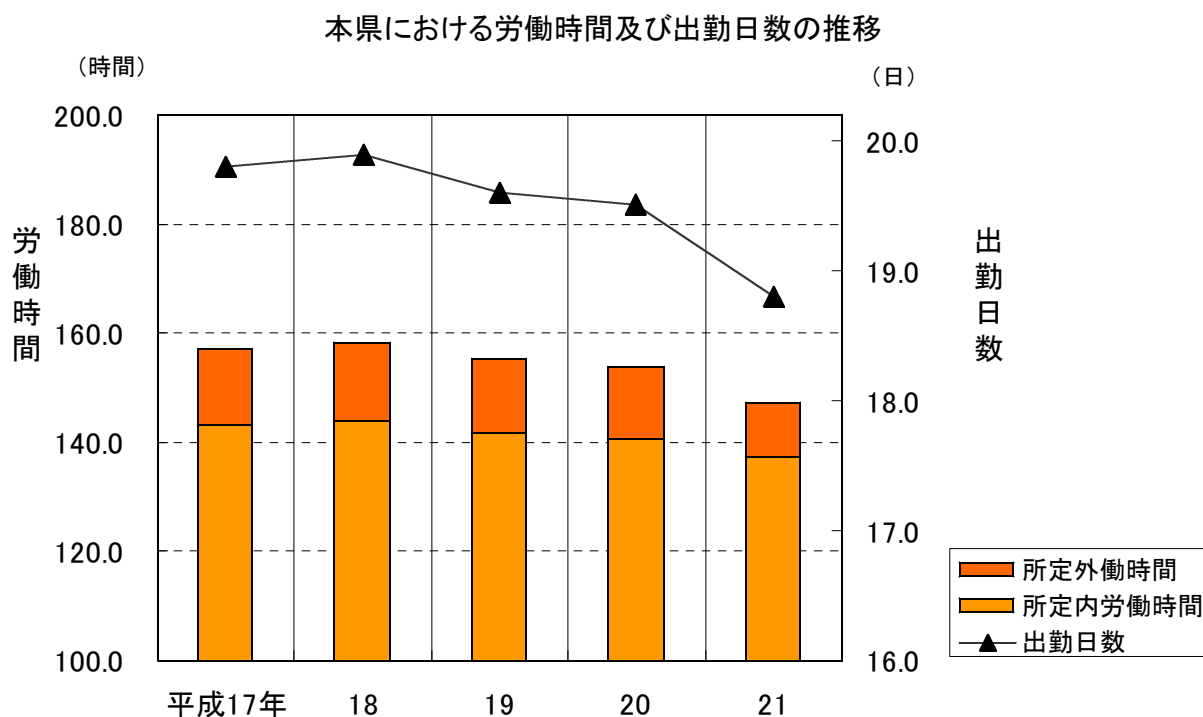


図 2 - 7

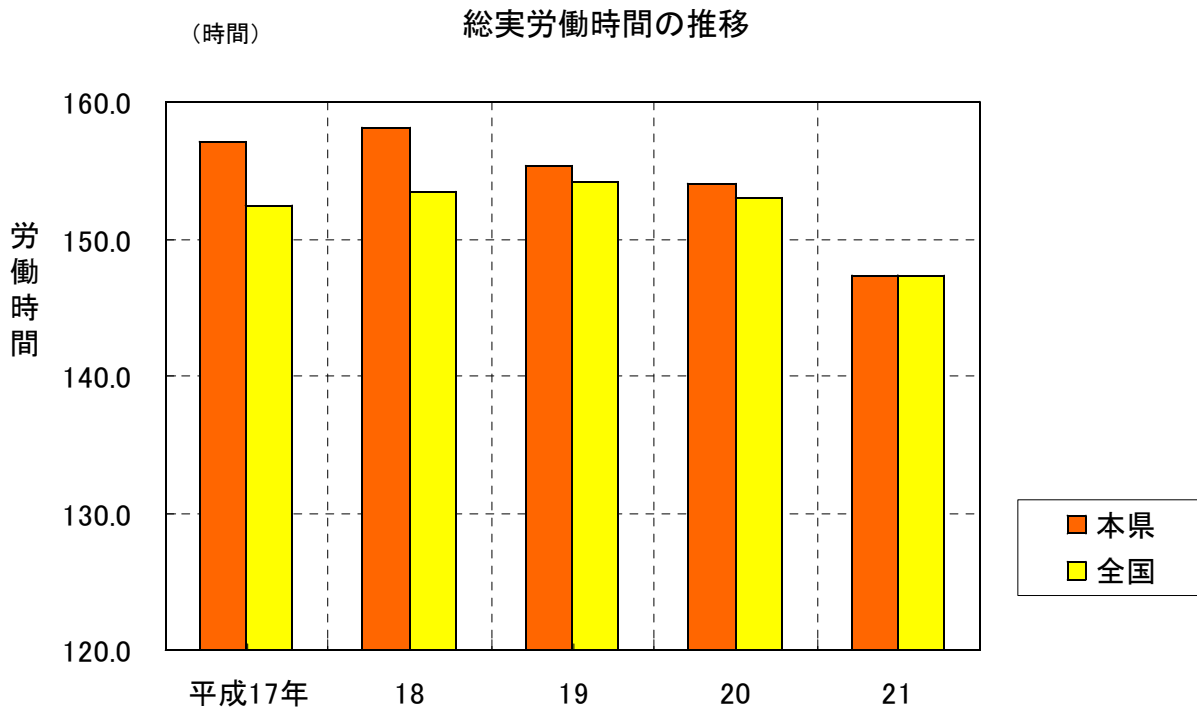
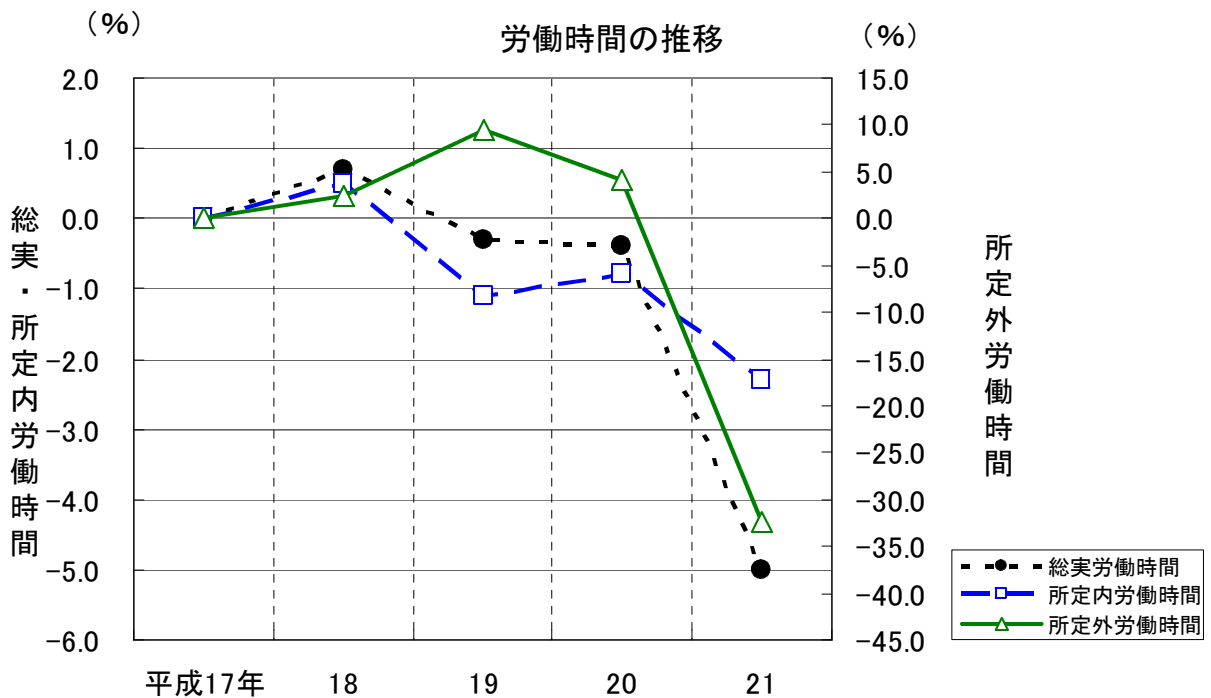


図 2 - 8



② 主な産業の労働時間・出勤日数

主な産業の労働時間を前年と比較すると、総実労働時間は、製造業が 9.2%、卸売・小売業が 6.0%、サービス業が 5.5%それぞれ減少した。総実労働時間のうち所定外労働時間は、製造業が 45.5%、卸売・小売業は 42.0%、サービス業は 23.7%それぞれ減少した。

出勤日数の前年との差は、製造業は 0.8日、卸売・小売業は 0.1日、サービス業は 1.1日それぞれ減少した。(表 2 - 9, 10, 11)

表 2-9 主な産業の総労働時間の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
総時間				時間				時間
平成17年	157.1	165.9	135.5	139.1	152.4	166.8	137.4	146.1
18	158.1	166.8	135.7	143.2	153.5	167.9	139.7	147.2
19	155.4	171.0	133.3	148.9	154.2	167.6	141.6	149.4
20	154.0	168.6	136.7	150.8	153.0	165.6	141.4	148.1
21	147.3	154.7	130.0	134.4	147.3	155.9	137.2	143.3
増減率				%				%
平成17年	-	-	-	-	-0.5	-0.6	-1.0	-0.5
18	0.7	0.5	0.1	3.0	0.7	0.7	1.7	0.7
19	-0.3	-0.1	-0.4	3.1	-0.2	-0.3	-0.7	-1.8
20	-0.4	-0.7	3.3	-2.5	-1.2	-1.1	-0.6	-2.1
21	-5.0	-9.2	-6.0	-5.5	-3.1	-5.8	-2.4	-1.3

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

表 2-10 主な産業の所定外労働時間の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
所定外時間				時間				時間
平成17年	14.0	18.5	4.6	6.6	12.4	17.7	6.4	11.0
18	14.3	18.5	4.8	6.8	12.9	18.3	7.0	11.5
19	13.6	19.4	6.1	11.1	13.4	18.5	7.9	12.2
20	13.3	18.1	6.9	11.4	12.9	17.3	7.6	11.8
21	9.9	11.5	4.7	8.2	10.9	11.7	6.7	10.7
増減率				%				%
平成17年	-	-	-	-	0.4	-0.4	0.8	2.5
18	2.3	-0.3	3.4	2.9	3.2	3.5	9.9	4.0
19	9.5	10.0	63.9	22.8	2.3	0.9	0.6	-2.0
20	4.1	3.1	25.0	-1.1	-2.8	-6.3	-1.0	-1.6
21	-32.4	-45.5	-42.0	-23.7	-16.7	-32.6	-15.4	-11.5

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

表 2-11 主な産業の出勤日数の推移

	群馬県				全国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
出勤日数				日				日
平成17年	19.8	19.5	20.7	18.5	19.4	19.6	19.7	19.2
18	19.9	19.5	20.6	18.9	19.4	19.7	19.8	19.2
19	19.6	19.7	20.0	19.2	19.4	19.6	19.9	19.2
20	19.5	19.6	20.1	19.4	19.3	19.5	19.8	19.0
21	18.8	18.8	20.0	18.3	18.8	18.9	19.3	18.5
前年差				日				日
平成17年	0.0	-0.1	-0.2	0.1	-0.2	-0.2	-0.4	-0.2
18	0.1	0.0	-0.1	0.4	0.0	0.1	0.1	0.0
19	-0.3	0.2	-0.6	0.3	0.0	-0.1	0.1	0.0
20	-0.1	-0.1	0.1	0.2	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2
21	-0.7	-0.8	-0.1	-1.1	-0.5	-0.6	-0.5	-0.5

(3) 雇 用

① 雇用の動き

常用労働者の推計労働者数は、前年に比べ 1.1%減の 419,391人であった。

主な産業の常用労働者の構成比は、製造業が 39.2%と最も大きく、これに続いて卸売・小売業の 12.6%、医療、福祉とサービス業の 12.3%となった。

常用労働者のうちパートタイム労働者（常用労働者のうち1日の労働時間の短い者又は1週の労働日数が少ない者）の比率は、23.6%であり前年を 1.1ポイント下回った。（表 2-12、図 2-9、10、11）

表 2-12 主な産業の常用労働者等の推移

	群馬 県				全 国			
	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
平成17年	404,154	150,007	70,924	39,014	25,084	6,296	4,025	3,554
18	401,765	149,636	69,829	39,951	25,249	6,350	4,008	3,633
19	403,954	151,367	66,548	41,540	25,610	6,411	4,020	3,730
20	398,354	151,019	64,546	39,893	26,015	6,500	4,027	3,792
21	419,391	164,334	52,689	51,574	26,257	6,388	4,023	3,706
構成比								
平成21年	100.0	39.2	12.6	12.3	100.0	24.3	15.3	14.1
増減率								
平成17年	-	-	-	-	0.8	0.1	-0.5	3.7
18	0.8	1.7	-5.4	9.7	0.9	1.0	-0.6	3.0
19	1.9	3.1	-8.5	10.9	1.5	0.9	0.3	2.9
20	-0.1	1.6	-7.1	2.0	1.7	1.4	0.1	1.7
21	-1.1	0.0	-2.5	-4.4	-0.4	-1.9	0.6	-6.3
パートタイム 比率								
平成17年	21.0	11.9	47.9	37.7	21.4	10.1	43.7	27.6
18	21.2	11.9	44.6	40.1	21.4	10.3	42.6	27.5
19	25.0	9.6	57.4	30.1	21.9	11.2	43.4	26.0
20	24.7	9.6	57.5	25.6	21.7	10.9	42.2	25.8
21	23.6	12.0	58.6	40.2	23.1	11.0	44.8	26.9

(注)増減率は指数により算出しているため、実数による比較とは一致しない。

図 2-9

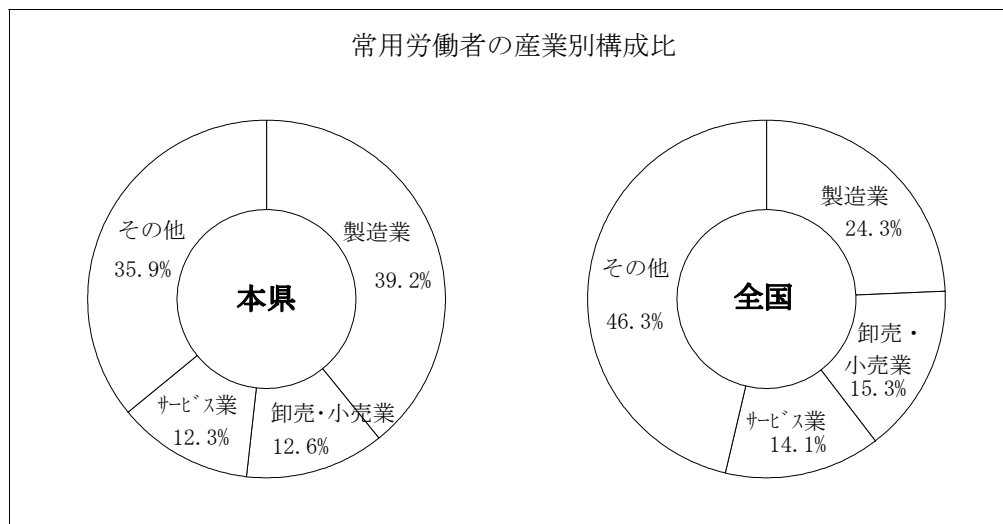


図 2 - 10

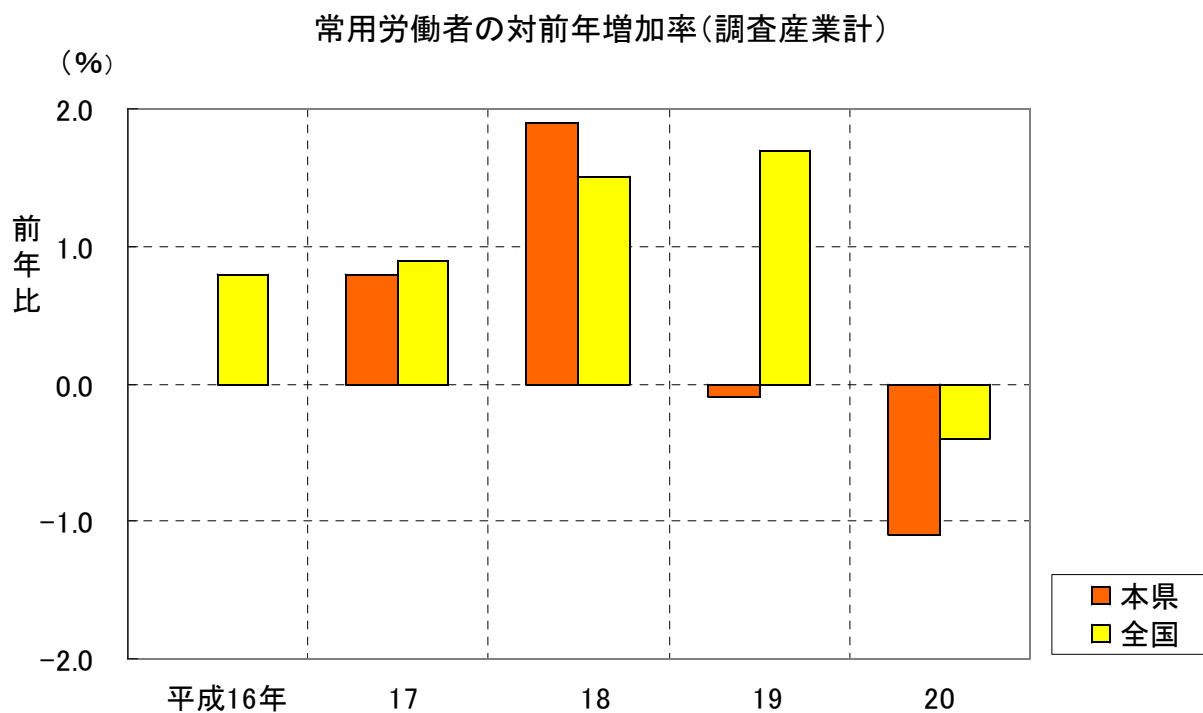
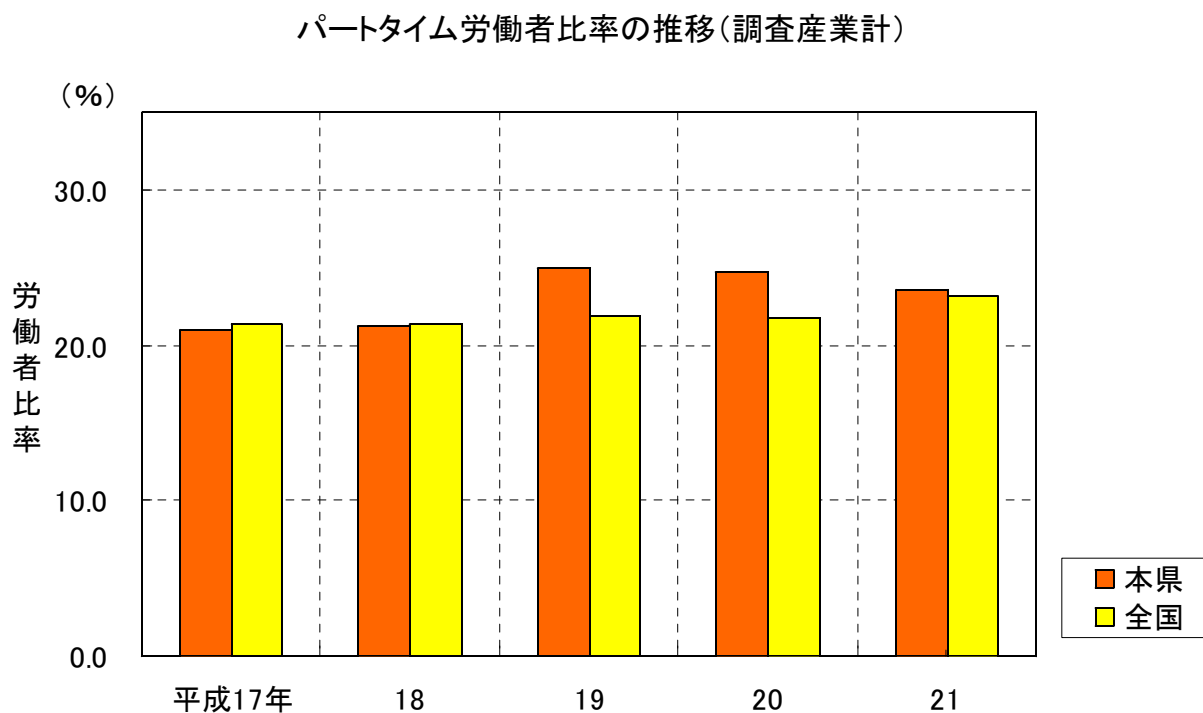


図 2 - 11



② 労働異動率

労働異動の状況を年累計で見ると、入職率は 21.4%で前年の 21.3%を 0.1ポイント上回った。離職率は 21.3%で前年の 21.7%を 0.4ポイント下回った。月別の異動率は、定期異動のある4月が入職率・離職率とも最も高かったが、これを除くと、入職率、離職率ともに3月が 2.2%と高かった。(表 2 - 13, 14、図 2 - 12)

表 2-13 主な産業の入職率及び離職率の推移

	調査産業計	製造業	卸売・小売業	サービス業
入職率				%
平成17年	17.2	13.0	19.8	28.6
18	17.4	12.0	19.0	26.5
19	22.9	13.8	19.6	57.7
20	21.3	12.7	21.6	54.7
21	21.4	13.6	25.2	37.3
離職率				%
平成17年	18.7	14.0	21.5	27.0
18	16.9	11.2	21.8	22.9
19	22.8	13.9	25.6	55.5
20	21.7	13.5	21.9	57.1
21	21.3	13.1	26.4	43.6

表 2-14 月別入職率及び離職率の推移

単位: %

平成21年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年累計
入職率	1.3	1.4	2.2	5.3	1.5	1.3	1.6	1.4	1.3	1.7	1.4	1.0	21.4
離職率	1.2	2.0	2.2	4.4	1.7	1.5	1.5	1.4	1.4	1.6	1.2	1.2	21.3

図 2-12

